greenhouse's gases というような形はありません。 (八木克正)

42. 「because+節」と「because of+句|

「英語コミュニケーション」の授業中に、「学校は明日創立記念日なので休みだ」を 英語でどう表現するかという問題がありました。 私は I have no class tomorrow because of the school foundation day. としましたが、先生は、 because of ... を because it is the school foundation day に訂正しました。節をとる場合は because, 名詞句をとる場合は because of と習ってきましたし、辞書にもそう書いています。なぜ because of the school foundation day ではいけないのでしょうか。先生からは納得のいく説明がありませんでした。 (大阪府 大学生)

Ans. 一見簡単そうですが、実はなかなか難しい質問です。英和辞典を見ても、because of は前置詞だから名詞句を従え、because は接続詞だから節を従えるという形式的な関係の説明はありますが、意味的な説明はないように思います。ある英和辞典は次のような対応関係を示しています。大体このような、形からの

(1) a. I couldn't go to school because of a headache.

説明だけになっています。

(頭痛のために学校に行けなかった)

- b. I couldn't go to school because I had a headache.
- (2) a. I couldn't attend the party because of my wife's being ill.

(妻の病気でパーティーに行けなかった)

b. I couldn't attend the party <u>because</u> my wife was ill.

これらの言い換えはこれでいいとして,では,(3b)はどうしてだめなのでしょうか。

- (3) a. I have no class tomorrow because it is the school foundation day.
 - b. ?I have no class tomorrow because of

the school foundation day.

この問題を考える前に、まず(3)の書き換えは本 当にできないのでしょうか。やはり多くのネイティブスピーカーは(3b)よりは(3a)の方がいいと 言います。それはなぜでしょうか。この問題を少 し掘り下げてみたいと思います。

(3b)がおかしいのは、舌足らずだからと言えます。「学校が休みであること」と「創立記念日」とが直接的な因果関係にあると理解されるには説明が不十分だと思います。

(3a)のbecause節を名詞句に変えてみましょう。
(3a) I have no class tomorrow because of its being the school foundation day.

これだったら堅苦しい表現ですが、意味はわかります。(3a)'から its being を省いてしまうと、 the school foundation day が一体どうしたのだ、 という情報不足を起こすでしょう。つまり、「創立記念日であること」が「学校が休み」であること との理由であれば理解されやすいでしょうが、 「創立記念日」だけではちゃんとした理由の説明にはならないというように考えてください。

一般論としてまとめると、because of A は主節の「原因・理由」(cause、reason)を述べます。 結局は、主節の内容と because of の後に来る名詞との因果関係がうまく説明できる、あるいは推測できることが条件となります。従って because of の後に何が来ることができるのかを一般化することは簡単にはできないと思います。

英英辞典からいくつか例を借りて考えてみましょう。

(4) Many families break up because of a lack of money. [COBUILD⁵]

(貧困のために離散する家族が多い)

- (5) Stacey retired in 1987, partly because of ill health. [MED²] (ステイシーは1987年に退職した。病弱がその理由の一端だった)
- (6) The train was delayed because of bad weather. [CALD²]

(列車は悪天候のために遅れた)

この3つの例を見ると、「家族の離散と貧困」「退職と病気」「列車の遅れと悪天候」といった因果

関係は無理なく理解できるでしょう。次の2例ではどうでしょう。

(7) We spent three hours waiting in the rain because of you! [LDCE⁴]

(君のせいで雨の中で3時間も待つはめになっ たんだ)

- (8) They are here <u>because of us.</u> [OALD⁷] (彼らは私たちのせいでここにいる)
- (9) I got interested in writing because of Denny. [LAAD²]

(デニーのおかげで書くことに関心をもった)

「雨の中で待たされる」と「お前」,「彼らがここにいる」と「私たち」,「書くことに興味をもった」と「デニー」の因果関係は文中には示されていませんが, you, us, Denny が何か重大な原因になったという文脈を推測させます。(10)の枠組みで, A にどのような名詞句が可能でしょうか。

(10) She got hurt because of A.

(A のせいでケガをした)

the accident, the crash は容易に因果関係がわかります。では、the desk, the computer はどうでしょう。原因であることはわかりますが、机がどうしてケガの原因になったのか、コンピュータがどうしたのかがわからない欲求不満を起こさせることになります。だから容認されにくくなるというわけです。

先生が十分に説明しなかったのは、簡単には説明できないことに原因があるのです。

(八木克正)

43.

代名詞 they と she

Q. ある英米文学者が英文の読み方を説く本に、 以下のように人称代名詞 they に関して述 べた一節がありました。

They は特定の人たちを指す以外に、漠然と誰のことも指さず、しいていえば「人」を指す代名詞として使われる場合があります。例えば、小学校の近くの小さな文房具店で店番をしている高齢のおばあちゃん。おじいちゃんはすでに亡くなり、子どもたちも独立して、今では彼女

はひとり暮らしです。それでも英語で「あの店は安い」と言うときは、

- ① They sell cheap at that shop. と言います。決して
- ② She sells cheap at that shop.

とはなりません。(they は店の人たちを指すというのは、初心者向きの便宜的な説明に過ぎません。)

そこで、質問ですが、その店の関係者も働き手 もそのおばあちゃん一人しかいないことを話者が 知っているなら、②も可能のような気が私はしま すが、いかがでしょうか。 (和光市 牧 晋也)

Ans. ①の文も②の文も文法的には可能ですが、どちらも実際に使われる可能性は低いでしょう。

まず、②の文から見ていきます。この文が使われる可能性はほとんどないでしょう。なぜなら、She が誰を指すのかすでに明らかであると話し手が思っている場合だけ She が使われるからです。つまり、「例の店を経営しているあの老婦人」のつもりで She と言うでしょう。したがって、at that shop を文の中に入れるのは意味がありません。その意味はすでに She を用いることの中に含まれているからです。ですから、at that shopを省いて She sells cheap. という文だけで考えてみることにします。しかし、それでもこの文が使われる可能性は非常に低いでしょう。というのは、sell cheap は、普通は、一般的なことを述べるのに使われるからです。たとえば、商売の仕方などについて述べる、次のような場合です。

- (a) [The President of Tanzania] has said that poor countries enjoy two basic rights: "To sell cheap and to buy dear." [BNC]
- (b) The key to the success of supermarkets has been buying in bulk and selling cheap. ある特定の小売店が物を安く売っているということを言うのに、sell cheap を使う可能性は極めて低いように思えます。ふつうは、次のように言うでしょう。
- (c1) That shop's cheap.
- (c2) That's a pretty cheap shop.